



会派を構成しない議員
とり やす こ
鳥井 康子



交通手段の改善について問う！

質問

高齢のため車の運転を続けることに戸惑いつつ、生活に不可欠なため継続している方が少なからずいる。公共交通機関までの移動が難しい方に対し、一部の地域からでもバスの停留所や駅までの足となるデマンド交通の導入に取り組むべきではないか。

回答

本市の高齢化は急速に進んでおり、高齢のために免許を返納される方も増えている中で、日常生活における移動手段の確保は重要な課題である。交通不便地域の解消については、地域それぞれの実情や有効な方策も異なってくるため、先進事例を参考にしながら、引き続き研究していく。

ひと言

移動手段の確保に困っている市民の声に1日でも早く応える必要があると考えます。



会派を構成しない議員
お ぜき えい こ
尾関 栄子



収入のない子どもの国民健康保険税の軽減を！

質問

収入のない子どもの国民健康保険税を軽減するためには、6,000万円余が必要とのことであるが、国民健康保険財政調整基金の現在高である約26億5,900万円を活用することで、子どもの国民健康保険税の引き下げが可能ではないのか。

回答

現在、国民健康保険における財政運営の責任主体が県に移行されたことにより、県内で保険税の統一について議論が深まっている。また、国民健康保険の被保険者の減少や一人当たり医療費の増加などの要因がある中で、基金の活用については慎重に判断していきたい。

ひと言

子どもの養育は社会の責任と捉え、国が責任を持つとともに、自治体も精一杯の努力をすべきです。



公明党議員会
ふじ もと ひで き
藤本 秀樹



介護人材を発掘し、介護環境を整備せよ！

質問

介護施設への入居待機者解消の取り組みとして、計100床を整備するとのことであるが、介護事業者からは介護職員の不足により、受け入れは困難であるとの声が上がっている。そうした現状を踏まえ、介護人材確保対策事業を構築すべきではないか。

回答

令和4年度の新規事業として、介護職へ多様な人材が参入するよう、介護に関心のある方や介護の仕事をしていない方を対象に介護の業務に携わる上で必要な基本的知識と技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」を実施した。引き続き、介護事業所の人材確保につながる事業を継続していく。

ひと言

介護職員の不足は深刻化しており、早急な市のサポート体制構築を期待します。



あしかが自民党議員会
おぎ わら ひさ お
荻原 久雄



デジタル田園都市国家構想の推進を問う！

質問

ブロックチェーン技術により実現された分散型インターネットであるWeb 3.0を推進するための環境整備や、コンピュータの中に構築された3次元の仮想空間やそのサービスを指すメタバースを含めたコンテンツについて、他自治体より先に取り入れることを期待するがどうか。

回答

近年、岩手県紫波町や新潟県山古志地域などで、Web 3.0を取り入れた町おこしを始めていると聞いている。本市においても、こうした先進事例の情報収集に努め、十分に研究を行い、地方創生につなげていきたい。

ひと言

ビジネストレンドの急速な変化に対応するため、本市の積極的な対応を期待します。